

2015年入試「インターネット出願」実施状況調査

私立大の約3分の1が“ネット出願”を実施！

— 国公立・私立あわせて66大学が新たに導入 —

平成26年9月 旺文社 教育情報センター

大学入試の出願スタイルが変わりつつある。従来の紙の願書でなく、インターネットを利用する出願を導入する大学が増えているのだ。「いつでも、手軽に、安く、記入ミスなく」出願できるといわれる「ネット出願」の最新実施状況と、一方で抱える課題を、大学・高校へのアンケート結果をもとに紹介する。

PART.1 大学へのアンケート結果

☆「ネット割」はネット出願実施校の半数近くが導入

旺文社『螢雪時代』編集部では、全4(6)年制大学に対し、ネット出願と、それに伴う受験料割引(ネット割)の2015年(以下、15年)入試における実施についてアンケート調査を行い、9月上旬までに国公立150大学、私立501大学から回答を得た。

※本調査における「ネット出願」は、大学ホームページの専用画面で、入試に対しエントリー(住所・氏名等の個人情報、受験希望の学部・学科等、方式・日程等を入力し、登録または受験番号が発行される)の段階まで可能な出願(調査書、作成した出願票の印刷等を郵送して完了)に限定した。

その結果、私立大では「①既に導入済み」「②新規導入が決定」「③新規導入を検討中」を合わせ、全体の約32%を占め、「④16年度以降の実施を検討」「⑤導入の予定なし」と、ほぼ3分の1ずつに対応が分かれることがわかった(次頁グラフ1)。

ネット出願を実施する私立149大学(9月上旬現在。通信制大学や、留学生・帰国生・社会人等の特別入試を対象とする大学を除く。P.5以降の一覧表を参照)のうち、26大学が一般入試(センター試験利用を含む)で完全実施(紙の願書を廃止)し、72大学がネット割も実施する。ネット出願を新規実施するのは、上智大・法政大・西南学院大など63大学。既実施校では、東海大・金城学院大など8大学でネット割を新規導入する。

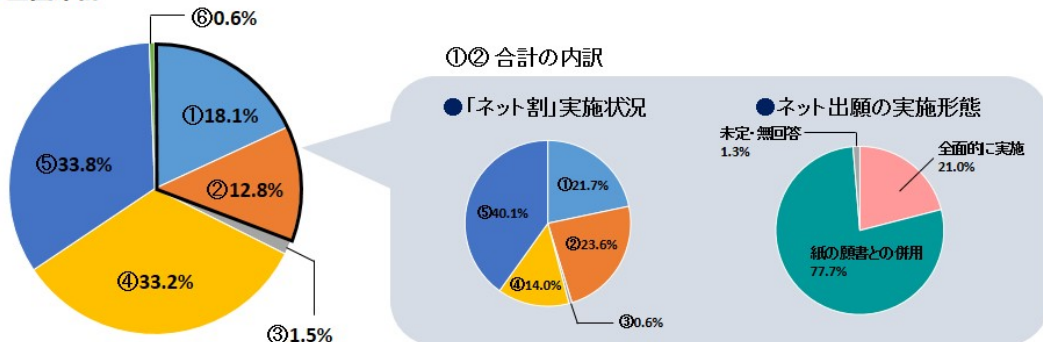
一方、国公立大では前述の④⑤をあわせ約93%と、私立大に比べ消極的だが、お茶の水女子大・広島大・愛媛大の3大学で新規実施する。また、「④16年度以降の実施を検討」との回答は、国立大(約32%)に対し公立大(約19%)と温度差があり、国立大の方が導入へ向けて前向きといえる。

私立大のうち、大学が集中する関東と関西の2地区を比較すると、①②合計の比率が、関東に対し関西の方が高く、逆に⑤の比率は関東の方が高い。周囲の競合大学が相次いで導入する中、積極的に動かざるをえない“ネット出願先進地区”の関西ならではの事情がみてとれる。

グラフ1 私立大学 インターネット出願 実施状況(501大学集計)

【凡例】 ①2014年度以前から実施 ②2015年度からの導入を決定 ③2015年度からの導入を検討中
 ④将来的に導入を検討中 ⑤導入の予定なし ⑥未定・無回答

●全国集計

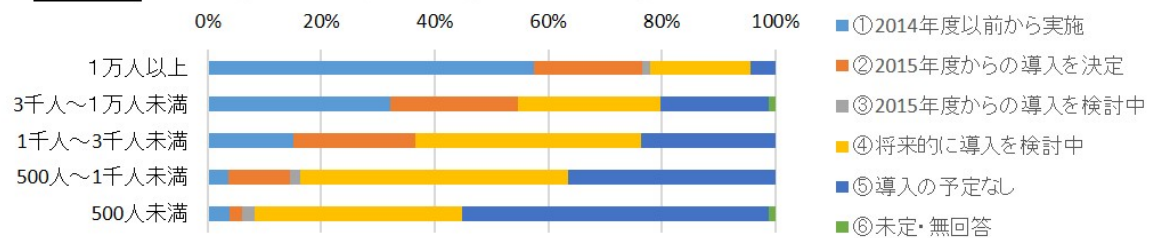


●関東・関西地区集計



また、各大学の14年一般入試の志願者総数で5つのグループ（1万人以上、3千人～1万人未満、1千人～3千人未満、500人～1千人未満、500人未満。通信制や非公表等の大学を除く）に分けて集計すると（グラフ2）、ネット出願実施校（①②の合計）の比率が「1万人以上」で約76%と最も高く、次いで「3千人～1万人未満＝約55%、1千人～3千人未満＝約37%、500人～1千人未満＝約15%、500人未満＝約6%」と続く。規模の大きさとネット出願の導入率はほぼ比例し、「志願者1千人以上」が分岐点のようだ。

グラフ2 ネット出願に適した規模は「志願者1千人以上」が分岐点



私立大のネット出願実施校（①②の合計）のうち、「全面的に実施」は約2割に留まり、現時点では「紙の願書との併用」が主流だ。また、ネット割の実施校（新規実施を含む）も半数近くに達する（ここでも、関東の約35%に対し、関西は約52%）が、「導入の予定なし」も約4割を占め、いまだ慎重な姿勢がみられる。

ネット出願には、ネット環境（パソコンやプリンターなど）さえ整っていれば「いつでも（出願締切日の夜中でも、願書が手元になくても）」「どこでも（自宅や学校でも）」

「ミス在未然に防げる（入力内容を画面上で再確認でき、再入力もできる）」など、受験生の利便性を高めるメリットがある。大学にとっても、①紙の願書の製作費を節約できる、②記入ミスをチェックする手間と要員を減らせる、などコストダウンが見込める。

また、ネット割にはコスト削減分を受験生に還元し、経済面で支援するとともに、志願者の増加やネット出願自体の利用率を高める目的があり、既実施大学で利用率が飛躍的にアップした事例も少なくない。割引額は各大学や入試方式で異なるが、ほぼ「3千円～5千円」の範囲だ。

ただし、解決すべき課題もある。ネット出願を実施しない大学があげられるおもな理由は、大きく「費用対効果」（システム構築など初期投資に対し、規模の点からコストダウンの効果が見込めない。特に小規模校にこの意見が多い）、「情報流出の懸念」（自校やシステム運用企業のセキュリティ管理への不安）の2点に集約される。

現在のネット出願は、最終的に調査書、画面上で作成した出願票のプリントアウト、証明写真、受験料支払の証明など（各大学で異なる）の郵送が必要なので、利便性アップやコストダウンには技術的な限界がある。また、個人情報の集積である出願データの流出防止には、紙での管理以上に大きな責任が伴う。

この他、「ネット環境に恵まれない受験生との公平性」を懸念する回答もあった。

ネット割を実施しない理由としては、すでに学内併願の受験料割引（いわゆる併願割）や受験料自体の減額を行っているから、との回答が多い。ネット割実施校も含め、自らの体力を削ぐような“値引き競争”激化を懸念する声が聞かれた。

なお、ネット出願およびネット割の実施大学一覧（9月上旬現在の判明分）をP. 5以降に掲載したので、参考にしてほしい。

PART. 2 高校・予備校の先生への調査結果

☆比較的好意的だが、「情報流出」「安易な出願」などを懸念

一方で、受験生を送り出す側の、高校・予備校の進路指導の先生は、ネット出願やネット割についてどう評価しているのだろうか？

本誌では、全国各地の高校・予備校の進路指導の先生に、ネット出願に関する意識調査を行い、8月末現在までに40校の回答を分析した。

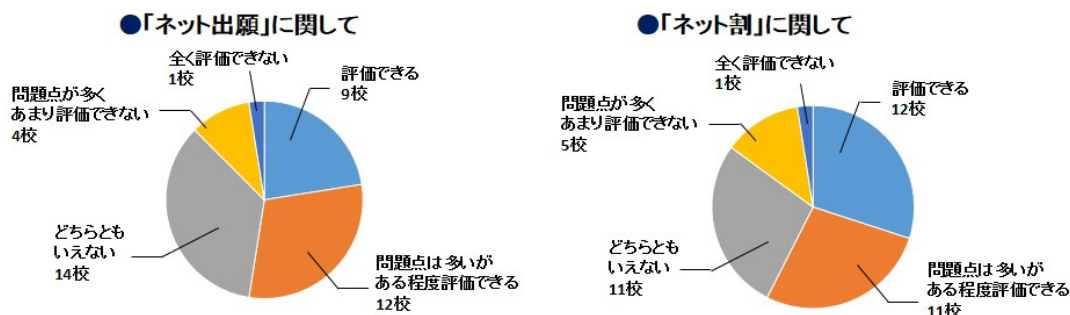
回答結果を見ると、まず生徒のネット出願の利用状況については、「把握している：8校、一部把握：12校、把握していない：19校、どちらともいえない：1校」で、紙の願書に比べて出願状況の把握の難しさがうかがえる。

また、ネット出願への対応は「積極的に情報提供：1校、生徒の自由に任せる：36校、できるだけ紙の願書を推奨：3校」と、基本的に生徒の自由に任せる傾向が強い。

ネット出願・ネット割に対する評価（次頁グラフ3）は「評価できる」「ある程度評価できる」を合わせ、ネット出願が21校、ネット割が23校と過半数を超える。インターネットが普及した現在、この出願方式自体は受け入れられているようだ。評価できる点は、

ネット出願では「記入ミスの減少」と「締切日直前でも出願できる」、ネット割は「生徒の経済的負担の軽減」に集約される。

グラフ3 高校・予備校の先生方の「ネット出願・ネット割」への評価(40校集計)



ただし、「あまり評価できない」「全く評価できない」を合わせると、ネット出願で5校、ネット割で6校ある。また評価する場合も、必ずしも全面的に肯定しているわけではない。

まず、「個人情報の流出」を懸念する声が多い。ネット出願がはらむ最大のリスクといえる。これは、実施しない大学の理由とも一致する。

気軽に出願できることを問題視する声も多い。前述のように出願状況を把握しにくいいため、適切な指導ができないまま、安易な出願や思わぬトラブルにつながる恐れがあるという。一方、募集要項を読み込み、紙の願書を手で書くことは、出願の重みを肌で感じ、社会性を身につける上でも意義が大きい、との意見もみられた。

「ネット環境のない受験生への配慮」を求める声も多い。より受験生に身近なスマートフォンに対応していない大学もあり、対応していても出願票を印刷する必要がある。高校・予備校のパソコンやプリンターの数にも限りがあり、出願の最盛期には利用が集中する恐れがある。ネット環境を持つ受験生との公平性を慮り、「ネット出願を利用できない生徒にこそ、受験料割引などの配慮をしてほしい」といった、切実な意見もみられた。

実施する大学には、より厳しい情報管理、高校への丁寧な説明、ネット環境のない受験生への手厚い配慮、さらにはコスト削減分を受験料以外にも活用すること（奨学金の充実、出題ミスの根絶など）が、今こそ求められている。

＜次頁より、2015年入試でネット出願を実施する大学リストを掲載＞

●これだけある！ 2015年入試に“ネット出願”できる大学（2014年9月現在）

【表の見方】①表中、インターネット出願に伴う受験料割引＝ネット割引、センター試験利用入試（一般・センター併用入試を含む）＝セ試利用、と略記。／②「大学名」欄で、★＝ネット出願とネット割引を新規実施、☆＝ネット出願を新規実施（ネット割引は実施しない）、◆＝既実施大学でネット割引を新規実施、を示す。／③「対象となる入試方式等」欄では、特定の方式等に限定する場合を除き、「一般入試」「セ試利用入試」「推薦入試」「AO入試」と大きく表示した。／④「実施形態」欄では、対象となる入試方式等について、「○」＝ネット出願で完全実施（紙の願書を廃止）、「*」＝一部が完全実施（備考も参照）、「-」＝紙の願書と併用、を示す。／⑤「ネット割引」欄で、「○」は実施校を、「○→」は受験料を減額したままネット出願に完全移行、「-」は実施しないことを示す。／⑥大学院や留学生・帰国生・社会人等の特別入試、通信制大学・学部については当表の対象外とした。／⑦詳細は、必ず各大学の募集要項やホームページで確認してほしい。

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割引	備考（実施形態・ネット割引の内容など）
お茶の水女子大(国立)☆	前期日程、後期日程	-	-	
広島大(国立)☆	前期日程、後期日程、AO入試	-	-	
愛媛大(国立)☆	AO入試(スーパーサイエンス特別コース)	-	-	
三重県立看護大(公立)	前期日程、後期日程、推薦入試	*	-	*＝推薦入試(地域推薦)はネット出願のみ
札幌学院大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円、セ試利用2,000円を割引
北海道医療大	一般後期、セ試利用前期B・後期B	-	-	
北海道科学大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
北海道情報大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円、セ試利用1,000円を割引
東北福祉大	一般入試、セ試利用入試	◎	-	ネット割引(出願1回につき2,000円割引)は取りやめ
白鷗大	学業特待入試、一般入試	-	-	
城西大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円を割引。また、セ試利用は2学科以上の併願を、一律25,000円に減額。
駿河台大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	○→	併願割引を継続(例:2併願め以降、一般入試で25,000円割引、セ試利用入試で7,000円割引)
聖学院大	一般入試、AO入試	-	-	
日本医療科学大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	
日本工業大★	一般入試、セ試利用入試、特別奨学生2期、AO入試	-	○	出願1回につき2,000円を割引(AO入試を除く)
文教大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	
神田外語大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
聖徳大	一般入試、セ試利用入試、特別奨学生入試(一般、セ試利用)、推薦入試、地元密着特別奨学入試	-	○	出願1回につき、一般・推薦等は5,000円割引、セ試利用は2,500円割引
千葉工業大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	-	*＝推薦入試、AO入試はネット出願のみ
千葉商科大	一般入試、セ試利用入試	-	○	一般前期とセ試前期3科目をネット出願で同時併願すると、セ試前期3科目を5,000円割引
明海大★	一般入試、セ試利用入試(歯以外の全学部)	-	○	出願1回につき5,000円割引
麗澤大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	
亜細亜大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
跡見学園女子大☆	一般B1・B2方式、セ試利用入試	-	-	
桜美林大	一般入試、セ試利用入試	◎	-	
工学院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
國學院大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般入試は5,000円割引。また、一般入試とセ試利用をネット出願で同時併願すると、セ試利用も3,000円割引
国際基督教大	AO入試	-	-	
国士館大	一般入試、セ試C方式II期	*	-	*＝一般中期はネット出願のみ
駒澤大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
産業能率大◆	一般入試、国公立大学併願入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
芝浦工業大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
順天堂大☆	医学部＝一般入試、セ試利用入試、AO入試	◎	-	
上智大☆	一般入試、TEAP利用型入試	◎	-	
昭和女子大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	-	*＝AO入試はネット出願のみ
成蹊大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
成城大☆	一般入試、セ試利用入試	◎	-	
創価大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき3,000円割引
大正大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
大東文化大	一般入試、全学部統一前期、セ試利用前期	-	-	

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
拓殖大◆	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
玉川大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
帝京大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試(医、理工-航空宇宙工<ヘリパイロットコース>を除く)	-	○	出願1回につき1,000円割引
帝京科学大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
東海大◆	一般A方式(医学部を除く)、一般B方式、理系学部統一入試、セ試利用入試	*	○	出願1回につき3,000円割引(一般A方式、理系学部統一入試、セ試利用前期)。/* = 一般B方式・セ試利用後期はネット出願のみ
東京医療保健大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京経済大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京工科大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
東京工芸大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京成徳大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき2,000円割引
東京電機大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般5,000円、セ試利用2,000円を割引
東京都市大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	○	受験料総額から1,000円割引。さらに、セ試利用3教科型は併願4学科め以降、同5教科型は併願2学科め以降、1学科につき16,000円を割引。/* = 推薦入試、AO入試はネット出願のみ
東京農業大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	-	
東京福祉大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
東京薬科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東洋大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	-	
日本大	一般入試、セ試利用入試	*	-	* = 一般N方式(学部共通日程)はネット出願のみ
文京学院大☆	一般入試、全学統一入試	-	-	
法政大☆	一般入試、セ試利用入試、理工-機械工<航空操縦学専修>のセ試利用入試、自己推薦	*	-	* = 理工-機械工<航空操縦学専修>のセ試利用入試、自己推薦はネット出願のみ
武蔵野大	一般入試、セ試利用入試	◎	○→	複数併願時のバック料金は継続
明治学院大	一般入試、セ試利用入試	*	-	* = 一般B日程、セ試利用後期はネット出願のみ
明星大◆	一般入試、セ試利用入試、スカラシップ前期・中期	-	○	出願1回につき一般5,000円、セ試利用2,000円を割引
目白大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
立正大	一般入試	-	-	
和光大★	一般入試、セ試利用入試	◎	○→	一般入試は受験料を5,000円減額
神奈川大	給費生試験、一般入試、セ試利用入試	◎	-	併願割は実施
神奈川工科大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	◎	-	指定校推薦は紙の願書のみ
関東学院大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
相模女子大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
洗足学園音楽大★	一般入試、AO入試	-	○	出願1回につき7,000円割引
新潟医療福祉大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
新潟薬科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
金沢星稜大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
福井工業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき5,000円割引(併願割もある)
岐阜女子大	セ試利用入試	-	-	
岐阜聖徳学園大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	○	ネット割はセ試利用のみ(2出願め以降10,000円割引)。/指定校推薦は紙の願書のみ
静岡理工科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
常葉大	一般入試、セ試利用入試、奨学生入試、特待生入試	-	-	
愛知大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
愛知学院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引、併願による割引もあり
愛知工業大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
愛知淑徳大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
金城学院大◆	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
椋山女子学園大	一般入試、セ試利用入試	*	○	出願1回につき5,000円割引/* = 一般B・セ試利用Bはネット出願のみ

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
大同大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	○→	出願1回につき5,000円割引、一般・セ試併用は無料
中京大	一般入試、セ試利用入試	◎	○→	受験料減額は継続(併願割)。AO入試・推薦入試・特別入試等は紙の願書のみ出願可
中部大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
東海学園大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	-	
名古屋外国語大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	ネット出願すると、どれだけ受けでも上限35,000円(セ試利用のみなら上限15,000円)
名古屋学院大	一般入試、セ試利用入試、特別奨学生入試	-	○	出願1回につき5,000円割引。さらに、ネット出願のみ対象の併願割引もあり
名古屋学芸大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試Ⅱ	-	○	ネット出願すると、どれだけ受けでも上限35,000円(セ試利用のみなら上限15,000円)
名古屋商科大	一般入試、セ試利用入試、特待生入試、公募推薦	-	-	15年から全入試の受験料自体を減額(3万5千円→2万円)
名古屋女子大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
名古屋文理大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき一般入試10,000円、セ試利用5,000円を割引
日本福祉大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
鈴鹿医療科学大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	単願で3,000円割引。一般入試とセ試利用方式を同時出願、または推薦の2方式を併願すると10,000円割引
長浜バイオ大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
大谷大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
京都学園大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
京都産業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	*	○	出願1回につき5,000円割引。さらに併願割引もあり。/* = 一般後期はネット出願のみ
京都女子大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
京都精華大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
京都橘大◆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	*	○	出願1回につき5,000円割引。/* = 自己推薦はネット出願のみ
京都文教大	一般入試、推薦入試、AO入試	-	○	通常の半額
同志社女子大	一般入試、セ試利用前期	-	-	
佛教大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
立命館大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
龍谷大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	同一出願期間の入試単位(「公募推薦(面接重視、小論文)」「公募推薦(2教科型、英語型、専門高校:農以外)」「公募推薦(専門高校:農)」「一般A日程・セ試利用前期」「一般B日程・セ試利用中期」「一般C日程」「セ試利用後期」)で、受験料総額から5,000円割引
追手門学院大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、小論文入試	◎	○	出願1回につき、受験料の総額から5,000円割引
大阪学院大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
大阪経済大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
大阪経済法科大◆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦等	-	○	ネット出願の場合、併願割のバック料金を設定(例:「基本バック」は2タイプ併願+3学科併願)で3万5千円)
大阪工業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	○→	出願1回につき、受験料の総額から5,000円割引
大阪産業大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
大阪商業大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき一般入試3,000円、セ試利用1,000円を割引
大阪成蹊大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき3,000円割引
大阪電気通信大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
大阪物療大	一般入試	-	-	
大阪薬科大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	-	
関西大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
関西医科大☆	医学部医学科の一般入試、セ試利用入試	-	-	
関西医療大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
関西福祉科学大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
近畿大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	○→	受験料減額(3,000円)は継続
四天王寺大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	出願1回につき、推薦・一般は3,000円割引
摂南大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、専門・総合推薦、AO入試(2次選考)	◎	○→	受験料減額(5,000円)。併願による割引もあり)は継続
太成学院大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
桃山学院大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	○→	受験料減額(5,000円)は継続

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
大和大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	-	
関西学院大	セ試利用入試	-	-	
甲南大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
神戸学院大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	○→	受験料減額(5,000円。併願による割引もあり)は継続
神戸松蔭女子学院大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
神戸薬科大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
姫路獨協大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
流通科学大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引。さらに併願割引もあり
畿央大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
帝塚山大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
岡山理科大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
広島工業大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
広島国際大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、専門・総合学科特別推薦	◎	○→	出願1回につき3,000円割引
広島修道大★	一般入試、セ試利用入試	*	○	出願1回につき3,000円割引。さらに併願割引もあり／*＝一般後期・セ試利用後期はネット出願のみ
徳島文理大◆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき一般・推薦・AO3,000円、セ試利用5,000円を割引
九州産業大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	○→	出願1回につき一般・推薦5,000円、セ試利用3,000円を減額(一般・セ試併用を除く)
久留米大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき一般入試5,000円、セ試利用3,000円を割引
西南学院大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき一般・推薦3,000円、セ試利用2,000円を割引
筑紫女学園大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	-	
西日本工業大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
福岡大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	*	○	出願1回につき一般・推薦5,000円、セ試利用3,000円を割引／*＝一般後期・セ試利用Ⅱ期・スポーツ科学部特別はネット出願のみ
福岡工業大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき一般・推薦2,000円、セ試利用1,000円を割引
日本文理大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
立命館アジア太平洋大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
宮崎国際大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	

(注1)上記の他、北海道大・筑波大が私費外国人留学生、武蔵野美術大が留学生、立教大が帰国生・留学生・社会人、早稲田大が帰国生・外国学生・英語プログラム等を対象に実施(ネット割はなし)。／(注2)通信制大学では、ビジネス・ブレイクスルー大、八洲学園大、サイバー大が実施(ネット割はなし)。人間総合科学大の通信制も実施(通学制の方は紙の願書のみ)。